

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

<認知症対応型共同生活介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	671200236
法人名	医療法人 東北医療福祉会
事業所名	フラワーさがえ
訪問調査日	平成 20 年 7 月 31 日
評価確定日	平成 20 年 9 月 3 日
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月27日

【評価実施概要】

事業所番号	671200236		
法人名	医療法人 東北医療福祉会		
事業所名	フラワーさがえ		
所在地 (電話番号)	山形県寒河江市大字寒河江字小和田41-5 (電話) 0237-83-1022		
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会		
所在地	山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地		
訪問調査日	平成20年7月31日	評価確定日	平成20年9月3日

【情報提供票より】(平成20年 7月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年8月9日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤16人, 非常勤0人, 常勤換算15.25人	

(2) 建物概要

建物形態	併設/○単独	○新築/改築
建物構造	軽量鉄骨造り	
	2階建ての	1階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,520 円	その他の経費(月額)	550円~ 650円 日額
敷金	有(円)	○ 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	○ 有(40,000円)	有りの場合 償却の有無	○ 有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000円

(4) 利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	9 名	女性	9 名
要介護1	3 名	要介護2	8 名		
要介護3	3 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 85.9 歳	最低 76 歳	最高 103 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	山形厚生病院、寒河江市立病院、清野歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域と共にあることを目指し、季刊誌の回覧、ポスティング、町内会行事への参加、草取り、ごみ拾い、地域の方を招いた「いも煮会」など、地域の中でその人らしく暮らし続けられるよう積極的な努力を続けています。

また、利用者がそれぞれに無理なく楽しく生活できるように、「おかず委員会」「お付き合い委員会」「怪我なし委員会」「大工委員会」が設けられ、全職員がいずれかの委員会に入って意欲的な活動にも取り組まれています。

「利用者の想い」を大切にしながら、「その人らしい暮らし」をより支えられるように、自ら「自己評価」を年に2回行うなど、利用者本位のケアサービスの更なる質の向上を目指しているホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	昨年度は職員数名の異動があり、全職員の紹介(写真入り)は一度配布されたが、異動の報告はなされていない状況にある。 職員の異動があった場合には、情報の受け手である家族の視点からみて、さらにわかりやすい報告がなされることを期待したい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	代表2名(交代制)を決め、年2回自己評価を行い、ユニット会議にて話し合い一つにまとめている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	ボランティア代表も含めた会議が2ヶ月ごと開催され、災害時の助け合いの確認、外部評価やノロウイルス対策の報告、冬期間の非常階段の確保など、事業所の活動に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	面会時の声掛け、家族会、行事への参加を通じて気軽に意見を出せる雰囲気作りに努めており、部屋の芳香剤の匂いの調節など、家族の声を運営に反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会での盆踊り、敬老会への参加や、近くの道路の草取り、川沿いのごみ拾いを行って、地域の一員として積極的に参加している。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初から地域と共にあること、地域の一員であることを目指しており、事業所独自の地域密着型サービスとしての理念を作り上げている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入職時研修やその2ヶ月後の試験で理念の再確認をしている。また、玄関前や日誌のファイル等に提示や、日々の声掛けで理念の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会での盆踊り、敬老会への参加や、近くの道路の草取り、川沿いのごみ拾いを行って、地域の一員として積極的に参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	代表2名(交代制)を決め、年2回自己評価を行い、ユニット会議にて話し合い一つにまとめている。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ボランティア代表も含めた会議が2ヶ月ごと開催され、災害時の助け合いの確認、外部評価やノロウイルス対策の報告、冬期間の非常階段の確保など、事業所の活動に活かしている。		

山形県 フラワーさがえ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月市役所に出向いて活動の報告をしたり、市主催の連絡会への参加をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月利用請求書と個々に合わせた1ヶ月の様子(写真入り)を送付している。 昨年度は職員数名の異動があり、全職員の紹介(写真入り)は一度配布されたが、異動の報告はなされていない状況にある。	○	職員の異動があった場合には、情報の受け手である家族の視点からみて、さらにわかりやすい報告がなされることを期待したい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時の声掛け、家族会、行事への参加を通じて気軽に意見を出せる雰囲気作りに努めており、部屋の芳香剤の匂いの調節など、家族の声を運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	日常的に2つのユニットでの交流を図るよう努め、買い物や外出の機会を活用しながら利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入職2ヶ月後の試験や全体会議(2ヶ月に1回)の際の講習等は行われているが、研修計画はまだ作成されていない。	○	研修計画をたてることにより、職員一人ひとりに必要な研修の機会をより確保し、職員育成のための研修をさらに確かなものとしていく取り組みも期待される。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	交換研修や市主催の交流会に参加して、書類の様式の改善を行うなどサービス質の向上につなげている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス 利用本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	調理方法や畑作業のやり方を聞いたり、一緒に作業をすることにより、一人ひとりの生活歴を生かしながら共に過ごし支えあう関係ができるようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族からの情報や日々の関わりの中での気付きをもとに、買い物に行ったり、帰宅願望の方はミーティングをして散歩など外出の機会多くして対処しており、本人本位に検討されている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、介護支援専門員、市の担当者の意見を聞き、全職員で話し合い、本人本位の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3～6ヶ月毎に見直しを行うとともに、毎月のユニット会議で評価を行っている。また、状態変化に合わせて布パンツに変更するなど、現状に即した介護計画になっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医に看護師または 職員が付き添い受診している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき だけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	「重度化に伴う対応指針」と「看取りに関する指針」があ り、入居時に家族に説明し同意を得ている。また、状態 変化に伴い、家族と今後について話し合いを持ち、関 係者全員で情報の共有をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをし ていない	利用者を人生の先輩として、言葉や態度に気をつけて いる。また、記録等の書類を開いたままにしないよう に心掛けている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとり想いを大切にしており、買い物、散 歩、外食でのラーメンなど、一人ひとりの希望に沿って 支援している。		

山形県 フラワーさがえ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物、準備、片付けなど、できる場所は見守りながら、利用者と共に行っている。また、毎週木曜日の昼食はフリーメニューになっており、好みのメニューや外食等が選択できる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者一人ひとりの希望や体調に合わせた入浴をしており、入浴剤や菖蒲湯といった楽しみの支援もされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畑仕事、新聞取り、米とぎ、配膳、カラオケ、昔語りを聴くなど、役割や楽しみごとの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に外出を促しており、毎日の買い物や散歩、希望に沿った外出を行っている。また、外出を好まない方は、日向ぼっこや戸外でのお茶のみの支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	全職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、利用者の状態をさりげない目配りや声掛けにより、きめ細かく把握して鍵をかけずに過ごしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防計画書を作成し年2回避難訓練(夜間想定も含む)を実施している。また、災害時の地域の方との協力体制作りの働きかけをしている。		

山形県 フラワーさがえ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表を記入し、体調の変化の早期発見に取り組んでいる。また、メニューは法人の管理栄養士に毎月1回「おかず委員会」で助言してもらい、栄養バランスにも配慮されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関前にベンチやパラソルがあり、西日対策に「すだれ」を利用して居心地よい空間を作っている。また、居間には季節の花や節句飾りなどを行って、季節感を取り入れている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはダンス、イス、テレビ、写真、植物などの好みの物が持ち込まれており、利用者が居心地よく過ごせる場所となっている。		